

第7回 TOKIWA SPIRIT 外国語プレゼンテーションコンテスト開催!

2021年12月17日(金)～24日(金)の期間に、第7回 TOKIWA SPIRIT をオンラインにて実施いたしました。

今年度は、5名の学生が英語で発表しました。それぞれ熱心に準備に取り組み、発表動画の作成に協力してくれました。

視聴者の方々からの投票によるプレゼンテーションアワードを受賞したのは、看護学部看護学科4年の呷野宏明さんです。呷野さんは、昨年につき2年連続の受賞となります。動画公開期間中の総アクセス数は182回、視聴者による投票数は39票でした。



プレゼンテーションアワードを受賞した呷野さんには
こちらのトロフィーが贈られます。

藤本 竜吾さん

人間科学部コミュニケーション学科4年

“Three Important Things to Study English in Japan”

大学入学当時は、英語が得意ではなかったという藤本さん。どのようにして英語学習に時間を費やし、TOEIC850点のスコアを獲得できるまでになったかを語ってくれました。また、藤本さんが英語学習を続けるうえで重要だと考えている3つのこと、①明確な目標を設定しどのような能力を身に付けたいかを明らかにすること、②インターネット、SNSなどを積極的に活用し様々な情報を集めること、③学内でネイティブの教職員、留学生などと話せる機会を活用すること、について共有してくれました。

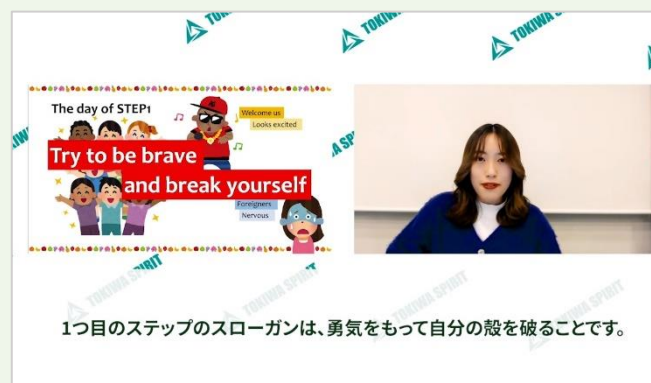


松崎 紗希さん

人間科学部コミュニケーション学科3年

“A New Encounter in My Life”

現在、松崎さんが参加しているボランティア活動について紹介してくれました。東北地方に住んでいる女子高校生が参加するこの活動は、女性の社会的立場のリーダー育成を目的としており、松崎さん自身も高校生の時に参加していました。高校生たちのサポート役として参加する中で、この活動を通して変化していく高校生の様子や、松崎さん自身が感じたこと、感銘を受けたことなどを発表してくれました。

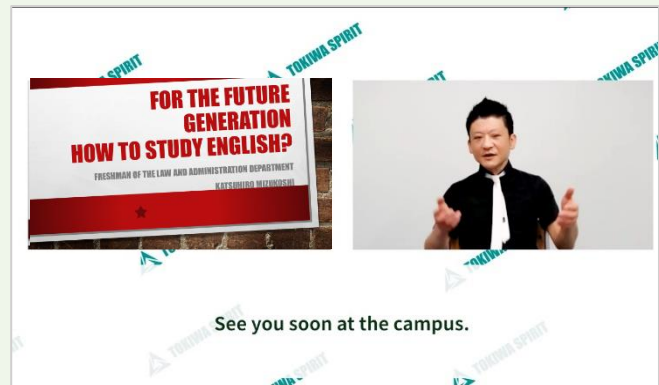


水越 克弘さん

総合政策学部法律行政学科1年

“For the Future Generation : How to Study English?”

英語学習をどのように継続していくか、が大きな課題であったという水越さん。自身が好きなヒップホップの楽曲のコーラス部分を記憶し暗唱することで、楽しく英語を学習する術を身につけました。いかにしてヒップホップに親しみ、それをどのように英語学習にカスタマイズして独自の英語勉強法を構築していったかをオリジナルのラップを披露しつつ紹介してくれました。



中村 友香さん

人間科学部コミュニケーション学科3年

“To Live Your Own Life - Let's Share Diversity with the World”

「マイノリティよりもマジョリティの意識変化が大切」という中村さん。日本では、違いを隠そうとして皆一緒になろうとする、皆と違うフレームにいるとなんか変、と心配されてしまう、そんな同調圧力に怯まず、違うフレームでも互いに認め合うことが大切と語りました。そのためにはまず、自分の特徴を隠さず「自分」を伝えてみるのが大事。これからは、時代が変わるのではなく、私達が「時代を変える」立場にならなければならない、と訴えました。



吽野 宏明さん

看護学部看護学科4年

“Why I Became Interested in International Nursing”

【第7回 TOKIWA SPIRIT Presentation Award 受賞】

留学生と交流する活動に参加していくうちに、国際看護に興味を持ち始めたという吽野さん。語学力を高めるため、交換留学生との英会話交流活動（EC）に参加したり、1か月間のアメリカ研修にも参加し異文化への理解を深めました。大学の授業では国際看護の授業を選択し、異文化を知るだけでなく、看護の視点からも学習を進めています。今後は、勉強してきたことを看護に活かして、外国人が安心して日本に来られる環境を整えたいと語ってくれました。

